

第4学年 ロマンタイム（総合的な学習の時間）学習指導案

日 時 平成23年11月16日（水）5校時
児 童 男子22名 女子25名 計47名
指導者 安倍 豊子 柳原 和歌子
場 所 第1音楽室・第2音楽室

1 単元名 『笑顔広がれ、平泉』 ～②元気 笑顔 つなげよう～

2 単元を展開するにあたって

（1）児童の実態

- ・児童は、3年生の総合的な学習の時間の「平泉のじまんさがし」の活動や4年生になって社会科で町にあるバリアフリーについて調べたり、国語科で点字について学んだり自分たちで調べて発表したりする学習を通して、探究的な学習の進め方や情報収集をする力を高めてきている。しかし、話し合いをもとに課題設定をする力や体験してきたことや集めた情報を整理し、自分たちで比較したり、関連付けたりして考える力はまだ十分とは言えない。
- ・単元を進めるにあたり、児童にアンケートをとった。その結果、祖父母と一緒に暮らしている児童は、学年の3分の2くらいいるが、ほとんどの祖父母が元気で仕事をしているという若い祖父母である。また、曾祖父母と住んでいる子は3人だけであった。年をとると体を動かすことが大変そうだとか外に出かける機会が減りあまり楽しみがないのではいかという憶測はできるものの、実際に体の不自由になったお年寄りとのふれあい機会はほとんどなく、体の大変さや気持ちについて共感的に理解するまでには至っていない。

（2）単元について

- ・児童は、3年生での「平泉のじまんさがし」の活動を通して、平泉の素晴らしさやよさをあらためて感じ、大好きになることができた。4年生では、その大好きな平泉に暮らすいろいろな人たちをもっと笑顔にしたいという思いから総合的な学習の学年テーマを「笑顔広がれ 平泉」と考え、地域に暮らすいろいろな人達とのふれあいの輪を広げ、交流活動などに取り組むことで、地域への愛着を一層深めるようにしたいと考える。
- ・子ども達の活動が探究的なものになるように、1学期に展開された第1小単元では、町の元気のもとであると考えた「地域のまつりや伝統行事」について、それぞれのよさやそれに携わっている人たちの願いを調べ、「たくさんの人に知ってもらおう、参加してもらおう」という思いをこめたチラシを作成した。できあがったチラシは、町内の至る所に設置し、観光客や町内の人達に見ていただくことができた。また、自分たちもまつりに参加して町を盛り上げていこうという思いをもつことができた。2学期の第2小単元では、町をもっと元気に、そして笑顔にするために「自分たちに何ができるか」を考えたなかで、老人ホームのお年寄りにも自分たちの元気と笑顔を分けてあげようと老人ホームのお年寄りたちとのふれあい活動を中心に活動を展開していくことにした。そして、3学期の第3小単元では、自分たちの活動を地

- 域の人たちに紹介したり、発信したりして、自分たちも町の一員として平泉の「ひと・もの・こと」を大切にしていこうという気持ちを高めていきたいと考えている。
- ・学年テーマ「笑顔広がれ 平泉」のもと展開していく3つの小単元を通して、地域のいろいろな方との心のふれあいを繰り返し進めていくことにより、本学習を終えても地域の人との交流を続けていったり、周りの人を思いやって自分から何かを働きかけたりするような姿が期待できると考える。

(3) 指導にあたって

本単元では、1学期の活動を受け、町をもっと元気にたくさんの人達を笑顔にしたいという願いをもち、その対象を老人福祉に絞り、ウェビングをすることにより単元への意欲化を図る。活動にあたっては、ペア学習を中心に展開し、デイサービスと1回、慶泉荘（老人ホーム）と2回の計3回のふれあい活動を通して、協同的な学習の仕方を身に付けさせていく。また、ふれあい活動の相手のお年寄りに対しての相手意識をしっかりとめ、相手にとってどんなかわり方がよいかについて話し合い活動を大切にしていける。また、慶泉荘の介護士による施設やお年寄りについて、社会福祉アピユイの方の老人疑似体験や車いす体験にかかわる講話等から得た情報を整理し、全体のものとしてよりよいかかわり方について考えを深め実践へとつなげ、人とかかわり合う力を高めていく。

【手立て1 自分の思いをもたせる工夫】

ゲストティーチャーの話や疑似体験、デイサービスや慶泉荘（老人ホーム）のお年寄りたちとのふれあい活動を展開していく中で新たな課題を見出し、よりよいかかわり方を目指していけるような方向付けを図る。また、自分の考えや変容が分かるように学習シートを活用し、継続的に記入していくようにする。

【手立て2 目的に応じた表現活動をさせる工夫】

活動を記録した写真を掲示し、活動への意欲付けや方向付けを図る。そして、その時の課題意識や活動のねらいなどを常に明確にできるようにする。

ふれあい活動を繰り返し行うことで、お年寄りとのよりよいかかわり方について考えを深めることができるようにする。

【手立て3 思いを広げ、深めるための伝え合う場の設定と学習形態の工夫】

本単元では、ペア活動を中心に展開し、それぞれの活動の節目節目に交流し合う場を設定し、互いの活動のよさを認め合ったり高め合ったりしながら学習を進めていくようにする。

3 単元の目標と育てたい力

高齢者にかかわる体験やふれあい活動を通して、慶泉荘のお年寄りを元気・笑顔にしていきたいという願いをもち、高齢者が抱えている問題に気付いたり高齢者とのかわり方を学んだりしながら、自分たちができることを考え実践できるようにする。

【学ぶ力】

- ・地域に暮らす人々に興味・関心をもち、地域の人たちとのふれあいをもとに自分のできることを考え、課題の設定をすることができる。
- ・収集した情報や体験したことを比べ考えることができる。

【かかわる力】

- ・福祉に携わる人達の考えや交流する方の気持ちを思いやりながら、自分たちにできることを考えかかわり合うことができる。

【生かす力】

- ・活動を通して学んだことを振り返り、自分の成長に気づき、これからの生活に生かすことができる。

5 本時の学習

(1) ねらい

自分たちが取り組んできたことを伝え合い、自分たちの活動してきたことが笑顔につながったことを確かめ合うことができる。

(2) 仮説とかかわって

【手立て3 思いを広げ、深めるための伝え合う場の設定と学習形態の工夫】

- ・おじいさんおばあさんの笑顔につながるためにペアで工夫したことや心がけたことを報告し合えるようにポスターセッションの形式を取り入れる。

(3) 展開

学習活動・ 予想される児童の反応	形態	教師の支援 評価(方法)
<p>1 報告会パート1の活動を振り返る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・おじいさんおばあさんのことを考えて、やさしく接していた。 ・喜んでもらえるように交流する内容を工夫していた。 </div> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分たちの活動が笑顔につながったか 確かめ合おう！</p> </div> <p>3 報告する側、聞く側の視点を確認する。</p> <p><視点> (報告側)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなことを考えて活動をしてきたか。 ・2回目の活動で工夫したことは何か。 ・成果と感想 <p>(聞く側)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笑顔につながる活動の工夫があったか。 ・笑顔につながるように協力し合っていたか。 ・自分たちの活動と比べてどうだったか。 	<p>全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・報告会パート1の感想を発表させることにより、後半への興味関心を高める。 ・慶泉荘のお年寄りたちを笑顔にするために取り組んできたことが、笑顔を広げる活動になったかを確認し合える報告会であることを確認する。 ・視点カードを示し、報告側・聞く側の視点を確認し合う。 ・聞く側には、「聞き方シート」をもたせ、活動の内容等の評価や感想を記入させる。

4 自分たちが取り組んだことを報告する。

(報告側)

〇〇ペア

〇〇さんは手先が器用だと聞いたのでちぎり絵と一緒にしました。できあがったちぎり絵をプレゼントしたら、とても喜んでくれました。

〇〇ペア

私たちは、紙芝居を読んであげました。お話が分かりやすいように大きな絵本を選び、ゆっくり読む工夫をしました。「楽しかったよ。」と言ってくれたのでうれしかったです。

(聞く側)

- ・〇〇さんたちのペアは、おばあさんと会話しながらちぎり絵を作っているところがよかったです。
- ・おばあさんのことを思って絵本の大きさや読み方を工夫していたところがよかったです。
- ・自分たちのペアも紙芝居だったけど、〇〇さんたちのペアは読んでいるときにお話がよく伝わるように身振り手振りを入れているところがいい工夫だなと思いました。

5 本時の学習を振り返る。

○報告会を振り返っての感想を発表し合う。

- ・おじいさんおばあさんが笑顔になるように遊び方を工夫した活動していたところがいいなと思いました。
- ・おじいさんおばあさんたちに喜んでもらえるようなプレゼントを考えていたところがいいなと思いました。
- ・おじいさんおばあさんたちにいっぱい話しかけていたことが笑顔につながったなと思いました。

6 次時の活動の確認をする。

○自分たちが取り組んできた活動の成果や課題を振り返ることを確認する。

グ

- ・教師も一緒に発表を聞いて回り、活動のよさや笑顔につながった手立てを気付かせるように声かけ等をする。
- ・聞く側の報告内容について、視点に沿った感想発表ができるように支援する。

【手立て3】

おじいさんおばあさんの笑顔につながるようにペアで工夫したことや心がけたことを報告し、自分達の活動のよさに気付けるようにポスターセッションの形式を取り入れる。

<生かす力>

笑顔にするために工夫して活動したことを友達に伝えることができたか。(報告)

全

- ・本活動のねらいを思い起こさせ、発表を聞き合って思ったこと・考えたことを学習シートに書かせる。
- ・感想を発表し合うことで自分たちの活動してきたことのよさを実感させる。

4. 単元の計画 (本時 33 / 34 時間)

時期	過程	主な学習活動(時数)と【予想される児童の思考】	教師の支援	育てたい力(評価規準と方法)		
				学ぶ力	かかわる力	生かす力
8月	つかむ 2	○前単元の振り返りや学年テーマとのかかわりから、課題意識をもつ。(2) 【予想される児童の思考】 ・町の人達の元気や笑顔をもっと広げたいな。 ・たくさんの人達を笑顔にしたいな。 ・お年寄りってどんな人?(ウェビング)	・前単元の活動で感じたことや学年テーマから、次の課題について話し合う。	老人福祉に興味関心をもち、課題を設定している。(話し合い・シート)	友だちの考えを取り入れながら課題設定している。(活動)	話し合いから自分の思いや考えを広げている。(シート)
9月	しらべる 13	○慶泉荘で働く介護士の方から、施設の様子やお年寄りたちの様子や気持ちを聞く。(1) 【予想される児童の思考】 ・お年寄りたちのために施設にはいろいろな工夫があるな。 ・介護士の方達は、お年寄り達が気持ちよく生活できるようにいろいろ考えているな。 ○デイサービスに通うお年寄りたちとふれあい活動を行い、お年寄り達の気持ちや接し方について考える。(1) 【予想される児童の思考】 ・喜んでくれた、うれしいな。 ・また、行ってあげたいな。 ・話しかけるのは難しいな。 ・老人ホームのお年寄り達の所へも行ってあげたいな。 ○慶泉荘のお年寄りたちとのふれあい活動を通し、お年寄りの体の様子や楽しみについて考える。(9) 【予想される児童の思考】 ・いっしょに活動して楽しかったな。 ・喜んでもらえたかな。 ・どう話しかけたらいいか困ったな。 ・うまく車イスが動かせなかった・・・。	・課題意識を明確にして活動ができるよう視点を与える。 ・収集した情報の整理や分析が容易になるように学習シートなどを工夫する。 ・デイサービスに通うお年寄りや慶泉荘(老人ホーム)のお年寄りたちとのふれあい活動から、自分たちに何ができるかを考えさせる。 ・活動の様子を振り返ることができるようにビデオや写真で記録し、活用できるようにする。 ・疑似体験から、お年寄りの身体機能の老化の様子に気付かせる。	G Tの話から得た情報や考えたことを整理・分析している。(活動・シート)	G Tの話から、課題に関する情報を収集している。(活動・シート)	G Tの話からお年寄りたちとのかかわり方を見つめている。(活動・シート)
10月		○高齢者の疑似体験や車椅子体験をし、年をとることによる体の不自由さやどのような接し方がよいかを考える。(2) 【予想される児童の思考】 ・体が思うように動かないな。 ・声をかけてから動かすことが大切だな。	・自分たちのかかわり方について考えさせる。	体験や活動を通して得られた情報や考えたことを整理・分析し、課題解決に結び付けている。(活動・シート)	お年寄りたちとのふれあいを楽しみ、課題解決を進んで交流している。(活動・シート)	交流活動を通して、地域の人達とのかかわり方を見つめている。(活動・シート)
				体験活動を通して得られた情報や考えたことを課題解決に結び付けている。(活動・シート)	課題解決をするために進んで体験活動をしている。(活動・シート)	体験活動で学んだことを生かして、新たな課題につなげている。(シート)

11 月	つかむ 2	<p>○施設の方の意見や自分たちの体験を振り返り、よりよいかかわり方をしていくためにはどのようにすればよいか、新たな課題をもつ。(2)</p> <p>・おじいさんおばあさんともっと仲良くなりたいな。 ・もっと笑顔にしたい。喜んでもらいたい。</p>	<p>・新たな意欲や問題意識を明確にして、よりよい活動になるような課題を設定させる。</p>	<p>笑顔を広げるために取り組みたい課題を設定している。 (話し合い・シート)</p>	<p>友だちの考えを大切にしながら、課題を設定している。 (活動・シート)</p>	<p>慶泉荘のお年寄りたちとの交流について自分の思いをもっている。 (シート)</p>
	しらべる 10	<p>○もっと笑顔にするための改善点を考え、2回目のふれあい活動に取り組む。(10)</p> <p>・○○さんは、○○することが好きだから、○○をしよう。 ・次の交流の時に○○を作っていこう。 ・車椅子で移動するときは、声をかけてからゆっくりと動こう。 ・話しかけるときは、必ず顔を見て話しかけよう。</p>	<p>・相手意識をしっかりともち、計画を立てるように助言する。 ・1回目のふれあい活動を通して芽生えた新たな意欲や問題意識などを明確にしてよりよい活動になるように助言する。</p>	<p>さらによりふれあいにするための方法を考えて活動している。 (話し合い・活動)</p>	<p>課題を解決するために進んで活動している。 (活動・シート)</p> <p>よりよいふれあいについて考え、お年寄りの方とかわっている。 (活動・シート)</p>	<p>G Tやお年寄りたちとのふれあいを通して学んだことを、よりよいコミュニケーションの取り方に生かしている。 (活動・シート)</p> <p>相手意識を明確にもち、かわり方について考えている。(シート)</p>
	まとめる 4	<p>○体験を通して分かったことや感じたこと・考えたことについてまとめる。(4)</p> <p>・自分たちがしたことを友達に教えたいな。 ・○○さんを笑顔にできたよ。 ・ふれあい活動をしてよかった。</p>	<p>・それぞれのグループで工夫したことが伝わるように、まとめ方の形式や内容を工夫できるようにする。 ・活動のようすを記録した写真などを活用できるようにする。</p>	<p>自分たちの活動してきたことをまとめ、表現している。 (シート・作品)</p>	<p>よりよいふれあいについて考え、繰り返しかわろうとしている。 (シート)</p>	<p>友達の考えも生かしてお年寄りたちとのかかわり方について考えている。 (シート)</p>
	ひろげる 3	<p>○報告会を開き、交流し合う。(2) (本時2/2)</p> <p>・いい活動をしているな。 ・喜んでもらえてよかったね。 ・笑顔にすることができたね。 ・ペアで協力し合っていたね。</p> <p>○活動を振りかえる。(1)</p>	<p>・活動してきたことの価値を互いに実感できるような場の設定を工夫する。 ・これまでに取り組んだことを振り返り、今後さらに必要な取り組みについて考える。</p>	<p>自分たちの活動したことをもとに自分の考えをまとめ、表現している。 (発表)</p>	<p>友だちの考えやよさを取り入れながらまとめている。 (作品・シート)</p>	<p>活動を通して自分が学んだことを友達に伝えている。(発表)</p>